

商工会議所LOBO(早期景気観測)

〈令和7年11月調査〉

業況 DI は、消費マインドの持ち直しで5か月ぶり改善 先行きは期待感うかがえるも、課題多く慎重な見方

○11月の全産業合計の業況 DI は、

▲17.9(前月比+1.0ポイント)

建設業では、人手不足や最低賃金見直しに伴う労務費の上昇、円安伸長等による資材価格の高騰が足かけとなり、悪化した。一方、好調な観光需要を背景に、サービス業では、飲食店や旅館、観光施設で客数が増加したほか、製造業では、飲食料品関係で引き合いが増加し、改善した。また、小売業では、行楽シーズンの本格化により外出機会が増え、百貨店・総合スーパー等で売上が増加し、改善した。

労務費の上昇に加え、円安の伸長や生鮮品の価格高騰など、幅広い業種からコスト増に伴う採算悪化が聞かれたものの、高い水準での賃上げや行楽シーズンによる外出機会の増加などから、消費マインドは持ち直しつつある。

○先行き見通し DI は、

▲17.7(今月比+0.2ポイント)

商工会議所 LOBO 調査とは

商工会議所のネットワークを活用して、各地域の「肌で感じる足元の景況感」を全国ベースで毎月調査。現在、324商工会議所の協力により、建設・製造・卸売・小売・サービスの5業種からなる2,437企業を対象に実施。

DI(景気動向指数)値とは

業況・売上・採算などの各項目についての、ヒアリング対象の判断の状況を表す数値。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答(「増加」や「好転」など)の割合が多く、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答(「減少」や「悪化」など)が多いことを示す。

※ DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

資料提供 日本商工会議所

奈良県の主要経済指標

県経済の概況：足踏み状態となっている

消費

百貨店・スーパー販売額(全店)			
	奈良県	前年同月比	動き(前月比)
R7. 8	179	▲1.4	↗
R7. 9	162	▲0.8	↘
R7.10	p169	p0.1	↗

(出所)経済産業省 (単位: 億円、 %)
全般的に消費マインドは低調に推移しているが、10月の百貨店・スーパー販売額は3か月ぶりに前年同月を上回る。

雇用

有効求人倍率			
	奈良県	前年同月比	動き(前月比)
R7. 8	1.14	0.00	↘
R7. 9	1.16	0.01	↗
R7.10	1.13	▲0.04	↘

(出所)奈良労働局 (単位: 倍、 ポイント)
10月の有効求人倍率は昨年8月以来14か月ぶりに、前年同月を下回る。

r 改訂、 p速報、 ▲低下
動き: 前月比 ↗上昇 →横ばい ↘低下

投資

新設住宅着工戸数			
	奈良県	前年同月比	動き(前月比)
R7. 8	350	▲33.6	↘
R7. 9	513	▲0.2	↗
R7.10	469	5.2	↘

(出所)国土交通省 (単位: 戸、 %)

10月の新設住宅着工戸数は7か月ぶりに前年同月を上回る。

景気

企業倒産			
	奈良県	前年同月比	動き(前月比)
R7. 9	7	16.7	↘
R7.10	17	54.5	↗
R7.11	9	80.0	↘

(出所)㈱東京商エリサーチ (単位: 件、 %)
11月の企業倒産件数は9件、負債総額は11億96百万円。件数は5か月連続で前年同月を上回り、年間累計で前年の110件を上回り117件となった。

資料提供 一般財団法人 南都経済研究所
株式会社東京商エリサーチ奈良支店